

新しい錦城の生活様式



321号
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2020

みんなでつくる
錦城高校新聞

錦城高校で行われている
様々な感染対策。
今回はそれらを
紹介していきます！

学校の感染予防対策

錦城高校では、分散登校の実施や、登校時の昇降口での体温測定など数々の感染防止対策が行われている。今回はそんな新しい錦城の生活様式について特集する。

感染予防を重視した授業

錦城では6月8日(月)から6月22日(月)までの期間、出



待機室はカーテンで仕切られおり、お互いに見えないようになっている。

席番号の奇数組と偶数組に分かれて、分散登校が行われている。クラスの半分の人数で授業を行うことで三密を防ぎ、ソーシャルディスタンスをとった上での、30分の短縮授業。他にも実技の授業の規模縮小や授業内でのグループワークの減少など、通常の学校生活再開に向けて様々な工夫がなされている。

「クラス全員で生活したい」

授業でもいくつかの工夫がされているが、生徒はどう感じているのだろうか。2年生のMくん(仮名)と今井颯太くん(2K)に話を聞いた。

待機室の使い方

学校再開に合わせ、旧校舎一階の女子更衣室の場所に「待機室」が設けられた。頭痛や倦怠感など具合が悪くなった場合は、保健室ではなくこの部屋で体温を測り、早退の

許可が出るまで、もしくは保護者の迎えが来るまで待機する。また、感染拡大を防ぐため、一度屋外に出ないで待機室には入れないつもりだ。怪我や養護の先生に相談したいことがあるときには今まで通り保健室を使用する。養護の横田舞子先生は「症状があるなら無理しないで休んでください」と話す。待機室を利用するときには、友達に声をかけてくれた。

エレベーターは人数制限！



エレベーターの定員人数が4人と定められた。床に貼ってあるテープに従い、ソーシャルディスタンスを守るように心がけよう。

冷水機は使用禁止に

間接的な感染を防ぐために使用禁止となった冷水機。水分補給できる場所がないため、毎日忘れずに水筒を持ってこよう。



コロナとたたかう学校生活

錦城で行われている感染予防の取り組みを紹介します。通常の学校生活再開に向けて自覚を持って行動していきましょう。

登校時には昇降口で体温測定

昇降口に体温測定器が設置されている。登校時にこの測定器の前に立つだけで体温が分かるようになっており、37.5度以上が測定されたら音が鳴る仕組みだという。



手洗い場所でもソーシャルディスタンス！

昼食前や体育の授業後などに使う手洗い場では、テープに従い一定の距離を確保しよう。

